

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

【大崎つりぼり】 <http://www.osaki-turibori.com/>

大崎つりぼりは、赤城山の南麓で創業50年以上も続く釣堀です。道具も全て貸し出しがあるので、気軽に釣りを楽しむことが出来ます。主に「ニジマス・ヤマメ・イワナ」など釣ることができ、初心者の方にオススメなエサ釣り専用の釣り堀と、釣りが趣味の方におススメなルアーフィッシングの釣り場があり、自分に合った楽しみ方を見つけられます。

釣りだけではなく、親子連れの方に嬉しい、ニジマスのつかみ取りも人気です。釣り上げた魚やつかんだ魚をその場で、炭火焼やからあげにして食べる味は格別。群馬県産の木炭を使っており、香ばしい薫りが食欲をそそります。釣堀以外にも、バーベキュー場を併設しており、食事のみの利用も可能です。



大崎つりぼりでは、15名以上でバーベキュー場を貸し切ったイベントを行うことも出来ます。釣堀内だけではなく簡易イケスもあるので、イベントへの出張や自宅での魚つかみ取り大会にも対応してもらえますので、今の季節にピッタリです！是非、家族やお友だちを誘って、お出かけ下さい。(文:黛)

休日はたくさんの親子連れでにぎやかです！

- 所要時間: 交流の家から車で10分 ■住所: 〒371-0246 群馬県前橋市柏倉町1966
 - TEL: 027-283-4325 ■定休日: 火曜日
 - 営業時間: エサ釣り(平日: AM9:00~PM5:00 / 土日祝祭日: AM9:00~PM5:30)
 - 料金: エサ釣り(入場無料、竿1本&2匹: 1050円、魚の追加 1匹 350円)、調理費用別途要
- ※ルアー、つかみどりなどの情報はHPをご覧ください。

リレーcolumn すたっふの目

『元気で安全に活動を!!』

文: 鈴木 和子
【すずき かずこ】



ながく交流の家を支えてくれている鈴木さん。看護師でもあるので、みんな頼りにしています。

<国立赤城青少年交流の家>でどのような活動を予定していますか？

活動を安全に行うためには個人で注意しなければならない事がたくさんあります。経験を通して得るものも多い反面、危険も伴います。安全な活動のためにぜひ事前に活動の準備(持ち物・服装や下見など…も含めて)を十分に行ってください。

例えば、健康面では普段の生活の中でも少しの体調不良の時、色々な対応策を考えていると思います。その内容にチョットのプラスをして野外での活動のリスクを減らすよう考えてみてください。

元気でたくさんの活動を楽しみ、たくさんの挑戦をしてもらい、<国立赤城青少年交流の家>が「みなさんの成長の場」となれるようがんばっていきたくと思います。

つぶやき

- 暑い夏は食事が偏りがちなので酔を多く取り入れ、疲労回復に努めています。殺菌効果もあります。(阿佐美)
- 暑いときには熱いものを食べる。トムヤンクンなんか最高。でも暑気払いで出たのは???もしかしてモツ煮?(新井伸)
- 今はプールですね。小3の娘と小1の息子と夏休みはブルー三昧です。西日の傾くころにはかき氷。娘はイチゴ、息子はブルーハワイが定番です。(新井義)
- 早朝と夕方、ランニングをして気持ちの良い汗をかき。夏バテ予防は体づくりから。(井上)
- 「これだけ暑ければ、どんどん痩せられるな!よし!」と思いつくことです。熱中症に気を付けます。(江原)
- 6年前40.9℃の中、昼寝して死にかけて人間としては、深谷市赤城乳業が誇るガリガリ君。(小川)
- 風呂に浸かって汗をかき、裸のまま『ブシュ』と一杯。体に浸みる元気の源。愛の手料理至福の時間。(小野里)
- ダイエット一時中止! よく食べよく寝る。これが私の夏を乗り切るポイント。(神山)
- 暑い日は息子と水遊び! プールに入り、噴水で遊び、川デビューもしたいな。あとは涼しい部屋でお昼寝。(川崎)
- 暑いときはやっぱりアイス。モナカか抹茶味がさっぱりしていて好きです。また、最近は巨峰味のかき氷がおいしく入り。運転しながらポリポリ食べています。(木暮)
- 暑さには、体を慣らすしかないでしょう。たっぷり汗かいて、水飲んで、シャワー浴びて、これで、OK!(桜井)
- 猛暑が続き、突然に気温差が10℃近く低下する日があります。皆さん、体が資本ですよ!健康管理はしっかりやろう!(佐藤)
- この夏こそ「ソーラークーラー」実践してみたい!!夏が終わるころ「プロ」と呼ばれていたい!!(鈴木)
- あつという間に夏がやってきた。このままだと、冬もあつという間に来るに違いない(苦笑)。(高瀬)
- 梅雨明けからの熱波にすでに溶けてます。小まめに缶コーヒー補給…いやいや水分補給をしましょう(中屋)
- 小川のせせらぎの聞こえる森の木陰にハンモックをかけ、優雅に揺られる…妄想をして乗り切る!!(根岸)
- 水分補給とアメなどで適度な塩分を取るようになっています。日課のウォーキングはなるべく早朝に。(原田)
- 暑い夏は、やっぱり「かき氷」。所の近くの道の駅にお気に入りのかき氷屋さんがあります(*`*)(廣澤)
- 暑いものを食べる。サウナに入る。仕事の締切を考える。(星野)
- 暑い夏、涼しい場所を求めて右往左往する毎日です。エアコンは体に悪いと思いつつ、群馬の夏にはこれしかない。(松崎)
- 冷たい麦茶、ひやむぎ、アイスクリーム、カフェオレ、からいスンドゥブ。毎年これで乗り切ります。(黛)
- 夜、アパートの廊下に群がる虫たちを目にして肝を冷やす。(森田)
- 今年は山の上で夏が過ぎるのを待ちます。夕立上がりの涼しい風が毎年の楽しみです。(山田)

※今号のつぶやきは「暑い夏の乗り切り方」掲載順は、「苗字のあいうえお順」です。

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

8-9
2013



「世界に誇る日本の宝石」

オオムラサキの寿命は約1年。夏のわずかな間に姿を見せ、その後産卵を行い、次の世代へと命を繋いでいく。大きなハネを思い切り伸ばし、堂々と優雅に舞う姿はさすが国蝶と言われるだけあって、思わず見とれてしまいます

次号は、
10月1日発行予定!

風のおと

「体験お届けします」

子どもの施設では「あかぎ体験お届け隊」という活動をしています。国立の青少年教育施設27施設では、みんなで、『体験の風を起そう』というキャンペーンをしています。そのキャンペーンの一環としての『あかぎ体験お届け隊』です。ボーイスカウトでは『アウトドアチャレンジ』という名前で同様の活動をしています。学校の先生は『チャレンジランキング』という名前をご存知かもしれませんね。『遊びオリンピック』などというときもあります。どんなことをするかというと、すぐ身近なところで、いろいろな実験を楽しみながらしてもらおうというものです。

例えば、友達と仲良くなれる遊びや、身近な自然を感じることができるといって、生活能力が高まる遊びなどです。とにかく、楽しい活動をお届けしますので、ぜひ、ご相談ください。近くの公民館とか、公園、グラウンドや体育館、教室でも可能です。時間も半日からお引き受けしますので、気軽にご連絡くださいませ。

所長 桜井義維英

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00) FAX:027-289-7226
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27 E-mail: akagi@niye.go.jp

あかぎ カラゴロリ





「同じ仲間」と農業体験 ～1年かけて、お米と野菜を作ろう～

1年間、実施します！
風っこファーム

本所では、上毛新聞社、ぐんまフラワーパーク、前橋市文化財保護課との連携で「風っこファーム」事業を実施しています。前橋市柏倉町にある重要文化財、阿久沢家住宅を舞台に、周辺の田畑をお借りして行う全10回の農業（デイ）キャンプです。

3月にスタートし、花を植え、看板を作りました。7月に初の収穫を迎え、8月には初めての1泊キャンプが待っています。秋の稲刈りに向け、いよいよクライマックスというところです。

16名の子どもたちははじめ、バラバラでしたが、毎月の農作業を経てきょうだいのようなかわりが見られるようになってきました。このような関係性が生まれてくるのもキャンプならではです。

はじめての活動のとき、おそろおそろ畑に入っていった子どもたちですが、今では放っておくと自ら木に登り、どこでも恐れず入っていきます。回を追うごとにたくましくなっています。1回限りのイベントではこうはなりません。たとえ短い時間でも複数回実施することで、かつ、一貫した方針でつながりのあるプログラムだからこそ子どもたちの成長だと思っています。



「週刊風っこ」田植えの掲載記事です。

「元気よくあいさつしよう」「いろいろなものに感謝しよう」がこの風っこファームの基本方針。この場所が使えること、太陽や水など自然の恵み、ここまで送り迎えてくれる保護者など感謝することはいろいろですが、もっとも感謝しなくてはいけないのは農業指導してくれる阿久沢勝太郎さんと光代さんで

す。お二人のあたたい人柄がこのプログラムのまさに「肝」です。子どもたちにも作物にも、すべてに愛おしく接する姿こそが、風っこファームを体現しています。

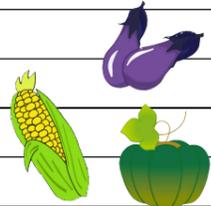
(文：高瀬)



自分で作った野菜は美味しい！！思わずその場でパクリ。これから野菜はモリモリ収穫出来ます！

風っこファーム スケジュール

第1回	3月31日	ホワイトレースフラワー植え付け・看板作り
第2回	4月20日	看板設置、里芋・とうもろこし植え付け
第3回	5月11日	ナス・キュウリ・かぼちゃの植え付け
第4回	6月2日	田植え
第5回	7月6日	オオムラサキの放蝶、キュウリ・ナスの収穫
第6回	7月20日	かかし作り、とうもろこしの収穫
第7回	8月5～6日	サマーキャンプ
第8回	8月31日	かぼちゃの収穫
第9回	9月16日	白菜の植え付け
第10回	9月29日	稲刈り



これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)



■【赤城やまなみチャレンジキャンプ】

・8/17～23 ※6泊7日
テントに泊まり、赤城山の自然をダイナミックに体験できる、冒険キャンプです。「目指せ赤城全山制覇！」を合言葉に、赤城山中腹からスタートし、大沼付近をベースに、やまなみを縦走します。

■【あかぎ多文化共生推進事業】

・8/28～30 ※2泊3日
外国人学校の児童生徒が自然体験活動することによって、日本の自然に親しみ、日本の地域社会に踏み出すための足がかりとすることを目的としています。

■【あかぎカップ中学生交流秋季野球大会】

・10/27・28
群馬県内外の中学校野球部を対象にした、交流試合です。

■【サンサンかがやきキャンプ】

※1泊2日
①8/31～9/1 ②2/8～9
健康な子どもハンディキャップを持っている子どもと一緒に楽しく活動することを通して、互いを尊重し、認め合うことができるようにする。1回目のメインプログラムは水遊びと乗馬、2回目は雪遊びと星空観察を実施する予定。

■【H26年度予約受付が始まります!!】

【4月～7月ご利用分申込】
10/4(金) 10:00～
※初日は電話のみで受付
【8月～3月ご利用分申込】
10/11 10:00～
※初日は電話のみで受付
HPで空き状況をご確認の上、お電話またはE-mailにてお申し込みください。

プログラム紹介!

【森林守り隊】

交流の家周辺の森は、10年ほど前から枯れが進み、多くの森を失ってしまいました。その荒廃した森を再生し、生物多様性を深めるための活動や学習が「あかぎ森林守り隊」です。

スライドを使った「森の役割」についての学習や荒廃した森の見学を含む散策、植樹や下草狩りといった直接的な活動から、間伐材や木の実を使ってのクラフトづくりや野外炊事など、環境をテーマにアレンジは無敵大です。季節によってできることも変わりますので、興味がありましたら一度ご相談ください。



↑暑い日に強いヒノキ

で、興味がありましたら一度ご相談ください。

森の中で楽しく遊ぶプログラムだけでなく、環境学習を盛り込んだプログラムも入れてみると、より森や自然への思いが強くなりますよ。

(文：根岸)

←夏場は下草刈りをします。

国立赤城青少年交流の家で活躍する、講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 ボランティア

落合 哲郎さん (ボラネーム:みつを)



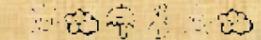
星空にも詳しい落合くん。会ったらいろいろ聞いてみてください。

本所の主催事業に参加した人はきっと彼に出会っているでしょう。彼は赤城法人ボランティア(通称:あかボラ)として大活躍中の落合哲郎さんです。ボラネーム(活動中の名称)は『みつを』なので、こちらの方が知られているかもしれません。今年度、本所が主催

している事業の多くに参加し、企画や運営のお手伝いをしていただいています。また、主催事業に限らず、レクリエーション講師としても登録しているので、学校などの利用団体にキャンプファイヤーの指導もしています。いつも笑顔で野外活動と子どもと関わるのが大好きな『みつを』は子どもたちからも大人気です。さらに、今年度は本所の「あかぎアドベンチャープログラム(通称:AAP)」の講師デビューも果たしました。

ますます活躍の幅を広げている『みつを』の周りにはこれからもたくさんの方の笑顔があふれていくことでしょう。(文:木暮)

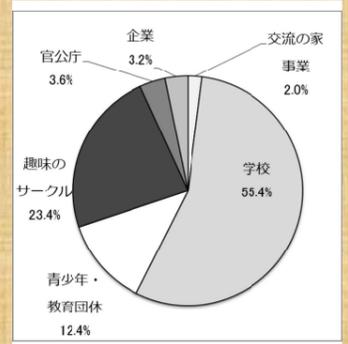
利用のようす(6～7月)



■6月の利用者数
…19,424人
156団体

■7月の利用者数
…14,628人
102団体

★利用団体
種類別の割合⇒



施設周辺の植物

自然豊かな赤城山。四季折々の花や植物。動物や虫の声。そんな自然を少しずつ紹介しようという号より、新しくコーナーをもうけました。今後の展開に期待、そしてこんな紹介して!!という声をぜひ届けてください。

さて、所内や周辺には様々な花が咲いています。最近では昔からある数種類のあじさいやオオバギボウシ、職員が植えたグラジオラスやインパチェンスなどを楽しむことができました。今年の緑のカーテンは、朝顔。色とりどりの朝顔が楽しめます。

そこで、問題です。
右の花はなんでしょう →
体育館横にひっそり…いえいえ!
結構な数で咲いています。
答えは、このページのどこかに…
いや、実際に来て探してください。



大塚製薬さんに聞きました!!

★熱中症対策では、どんなことに気をつけたらいいですか?

今年の夏も熱中症について騒がれていますが、次のことに気をつけて予防しましょう。

- 朝ごはんをしっかり食べる
- 夜、睡眠を十分とる
- うす着でさわやかに
- こまめに休憩をとる
- 体調不良は事故のもと
- 暑さに少しずつ慣れよう
- 失った水分と塩分を取り戻す

一日の活動計画をみると、ぎっしりと詰まっていることがあります。余裕のあるスケジュールで、夜は早く就寝し睡眠不足を防ぎましょう。また、気温30度を超えた場合、休憩は15分ごとにとると良いとされています。所の周辺も7月から30度を超える日が出てきます。運動は体力の低い人に合わせる内容にすると安全でしょう。

熱中症予防は、計画段階からの準備と活動中の注意が必要です。危険と感じたらすばやく反応できる冷静な『目』を持って活動しましょう。

(参考HP 大塚製薬『熱中症を予防しよう』)

http://www.otsuka.co.jp/health_illness/heat_disorder/

